

地区懇談会

平成30年7月3日(火)～5日(木)

来期より始まる国民皆で森林を支える仕組みである「森林環境譲与税(仮称)」等に関するご質問を多数頂きました。

Q 新たに森林経営管理法が成立をしたと聞きましたが、これまでの補助事業での間伐対象森林は1反以上でしたが、1反ない零細所有者の山林はどうなってしまうのですか。

A 対象の森林は、森林組合に作業依頼しても採算が取れないような山林となります。面積要件は特にありませんが、市町が集積して、ある程度面積が確保された段階で施業に入るので、数年は集積する期間になるのではないかと思います。(県回答)

●「森林環境譲与税」については、2019年度より取組む体制を構築しようとしている状況です。

●森林環境税 (仮称)
個人年額 ¥1,000 -
国税として住民税より徴収
2024年度より課税
(平年度徴収額 約 600 億円見込み)

国より

●森林環境譲与税 (仮称)
市町村：都道府県へ譲与
8:2 (2019年) ～ 9:1 (2034年)
2019年度より前倒しで譲与
2033年度より徴収額の100%が譲与

造林補助事業

● 全ての作業種において写真(着工前・作業中)が必要です。組合に事前にご連絡下さい。写真を撮らせて頂きます。



(委託・代理申請 共通)

- 地目は、山林に限る。
- 1ヶ所 0.1ha(1反)以上の面積が必要
- 植付けは植栽本数 概ね1,000本/ha以上
- 枝打ちは、枝打ち幅1m以上が必要

平成30年度

作業種 林齢	植付	下刈	枝打	除伐 間伐	森林 作業道	備考
1年生	●	●			①	*① 森林施業の効率性の向上に貢献する箇所に限る
2年生～ 10年生		*②	●		①	*② 6年生以上は雑草木が繁茂している場合に限る
11年生～ 90年生			●	*③	①	*③ 伐採率20%以上または30%以上

利用間伐の場合【市場等の入荷伝票】【伐採木搬出の写真】の提出が必要になります。組合で撮らせて頂きます。

架線集材と販路の拡大

林産流通課長 柳田圭一

平成30年度より林産事業において、2つの新しい取組みを始めました。

高性能林業機械を用いた主伐作業に加え、ベテランの嶋田・中村による「架線集材」をはじめました。索張りの架設・撤収には、若手の現業職員も交えて、経験と技術の継承に努めています。架線集材を行うことで、今まで搬出が困難だった山林を買取りできるよう努力していきたいと考えています。

また、付加価値をつけて原木を販売する試みとして、質挽き・乾燥・製品化を行い、ウッドピア市売協同組合に販売を委託しています。まだ製品は販売されておらず、これからの結果が待たれますが、さまざまな努力で、組合員の皆様に還元できるように試行錯誤を続けていきます。



出荷を待つヒノキ材



路網開設が困難な山林での「架線集材」による搬出

日本伐木チャンピオンシップ(JLC)へ出場 (H30.5.19~20)

青森市モヤビルズにおいて開催されたJLC(チェンソーの技術を5種目で競う個人競技)に当組合より片岡淳也、中井一輝、西晋矢の3名が出場しました。



枝払い競技は、安全に、速く、繊細に

以下、片岡班長のレポートより抜粋

私はこの競技が林業界の中でスタンダードに成ってほしいです。理由は3つ。まず1つ目はすべてが安全に基づいての動作になっていること。2つ目はチェンソーの技術が格段に向上すること。3つ目は「ヤル気の塊」みたいな人たちが技術を争い、刺激し合うことで「仕事に対するモチベーション」が上がること。とにかくここがこの競技の一番好きなところ。いろんな立場の人たちと関わる事で、自分にプラスになる事が非常に増えます。今回は決勝に出場出来なかったですが、メンバーは互いに切磋琢磨しながら高め合い、全員で上達したと思います。その過程は本当に楽しかったです。また、指導、応援、協力してくれた人達、この競技に出会わせてくれ、この競技を続けさせてくれた組合に心から感謝しています。

新入職員紹介 (H11年生まれ) 奥出悠汰

H30年4月に入社した奥出悠汰(18才)です。僕は体を動かす仕事に就きたい、また、地域や町のために働きたいと思い当組合に就職しました。まだまだ先輩の補助程度の作業ですが、山登りにもだんだん慣れ、何とか同ペースで歩けるようになってきました。仕事は厳しい面もありますが、自然とふれあいながらできるので頑張れると思います。これからは、先輩から言われた事を守り、安全に効率よく作業できるよう努力していきたいです。



第35号

大紀森林組合だより

平成30年9月発行



苗木の生長に欠かせない
猛暑の中の下刈作業。
大内山 北の向いて

表紙 中谷よう子さん

もくじ

- 提案型集約化施業の取り組みと36団地の実績
- 地区懇談会報告・造林補助事業
- 架線集材と販路拡大
- JLCへ出場・新入職員紹介

〒519-2802

三重県度会郡大紀町崎 239-2

TEL. 0598-74-0224

FAX. 0598-74-0379

業務 E-Mail taikisin @ma.mctv.ne.jp

総務 E-Mail taikisom @ma.mctv.ne.jp

「提案型集約化施業」とは、個々の所有林をまとめて団地化し、その中に森林作業道を開設、間伐作業を行う事業です。当組合はこの事業を平成18年度より手掛け、12年間に36団地の施業を行いました。

団地化する上で必要不可欠な作業道開設は、熟練した技術と知識を要しますが、森林所有者にとっては山がより身近な存在となり、その後の利用価値も高まります。今後もこのような事業を通じ、地域の森林整備が進むよう努めていきたいと考えています。

経営課係長 太田秀明

大紀森林組合

における

H18年度～H29年度

団地の選定

- 作業道等が開設済、又は、開設可能か
- 要間伐林分がまとまっているか
- 所有者、境界が明確にできるか
- 地区または個別訪問による説明

境界の確認

- 森林所有者の立会い

測量調査

- 森林面積、間伐の必要性

森林施業プランの作成

- 当組合がプランを作成
- 森林所有者と契約を結ぶ

森林経営委託 契約の締結

森林 作業道開設

- 環境に配慮した壊れない道づくり
- 道幅は狭く(3m以下)
 - 法高は低く
 - 排水は尾根へ

間伐作業

- 利用間伐
- 高性能林業機械等の作業システムで所有者への利益還元を目指す
- 切捨間伐
- 搬出の採算が合わない場所の森林整備



コンパスでの測量調査



バックホーでの作業道開設



法面を補強する丸太組工



プロセッサによる搬出伐採

提案型集約化施業の取り組みと 36団地の実績

大宮 地区	間伐 (ha)	作業道 (m)
① 奥 場	11.20 18.70 4.09	820 550
② 芦 谷	7.30 15.00 22.91	164
③ 巾田河内	44.90	125
④ 岩 内 山	17.70	90 240 120
⑤ 大 内	15.30 15.19	257
⑥ 奥山東通り	47.03	720 611
⑦ 八 重 谷	32.68	675 240
⑧ 打 見	50.74	1,946
⑨ 神地・駒原	32.34	500 370
⑩ 下 河 内	28.79	既設道有
⑪ 中 河 内	13.48	744
⑫ 神 原	68.40	1,150
⑬ 武 士 谷	34.21	968
⑭ カヤ谷	32.62	264
⑮ 奥山西通り	15.44	537
計	389.54	11,091

紀勢 地区	間伐 (ha)	作業道 (m)
① 大 平	9.00	430 110
② 大平谷向	9.30	800
③ 茂 谷	21.40	855
④ 寒 谷	20.00	325 330
⑤ 宮 田	17.34	400 260
⑥ ザラ谷	4.16	450
⑦ 上 野	19.49	665
⑧ 刈 子	51.63	1,800
⑨ 垣内後	39.34	1,900
⑩ 藤ヶ谷	16.15	170
⑪ 池ノ谷	17.40	712
⑫ 冷 水	7.01	980
⑬ 大 谷	—	878
計	232.22	11,040

大内山 地区	間伐 (ha)	作業道 (m)
① 小 平 谷	5.90	既設道有
② 大 平 谷	5.50	既設道有
③ 試 谷	13.60	1,002
④ 芦 谷	3.98	530
⑤ 駒ヶ谷	71.03	615
⑥ 北ノ向・二股	26.87	786
⑦ 杣 谷	45.86	723
⑧ 嶋 谷	17.92	1,544
計	190.66	5,200



⑮ 奥山西通り (大宮)



⑬ 武士谷 (大宮)



⑭ カヤ谷 (大宮)



⑪ 中河内 (大宮)



⑧ 刈子 (紀勢)



⑩ 藤ヶ谷 (紀勢)



⑪ 池ノ谷 (紀勢)



⑬ 大谷 (紀勢)



⑦ 杣谷 (大内山)



⑥ 北ノ向 (大内山)



⑧ 嶋谷 (大内山)